

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	7,106	△3.6	44	△11.2	54	△5.1	22	△23.9
26年9月期第1四半期	7,373	6.4	49	6.9	57	17.8	29	△36.9

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 82百万円(33.5%) 26年9月期第1四半期 61百万円(△28.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	4.82	—
26年9月期第1四半期	6.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	14,605	4,538	31.1	965.81
26年9月期	13,614	4,535	33.3	965.31

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 4,538百万円 26年9月期 4,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,700	△7.6	190	△21.7	215	△15.8	115	△29.3	24.47
通期	30,900	4.2	325	23.4	345	18.8	190	29.7	40.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	4,800,000株	26年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	101,075株	26年9月期	101,075株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	4,698,925株	26年9月期1Q	4,699,123株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算単身の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策により穏やかに回復基調で推移してまいりましたが、消費税増税後の個人消費の落ち込みや急激な円安による原材料価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境の変化に対応するため体質を強化し、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ、売上高は、71億6百万円と2億66百万円(△3.6%)の減収、営業利益は、44百万円と5百万円(△11.2%)の減益、経常利益は、54百万円と2百万円(△5.1%)の減益、四半期純利益は、22百万円と7百万円(△23.9%)の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

化学工業薬品は、主力であります電子部品産業をはじめとし、素材産業を含む製造業が高稼働を維持したことにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、納期の遅れや大学等の残予算消化の遅れなどにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で32億18百万円と54百万円(△1.7%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、2億94百万円と6百万円(△2.0%)の減収となりました。

(臨床検査試薬)

臨床検査試薬は、年末年始分の需要増や検体数の増加などにより前年同四半期を上回りました。また、同関連機器は、新規納入分が計画通り進まなかったため前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で30億80百万円と1億79百万円(△5.5%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、2億67百万円と22百万円(△7.7%)の減収となりました。

(食品)

食品添加物は、消費低迷の影響による生産調整などにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、7億84百万円と23百万円(△2.9%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、69百万円と1百万円(△2.7%)の減収となりました。

(その他)

その他は、価格競争の激化、種苗の販売減などにより前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、23百万円と8百万円(△27.6%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は、3百万円と2百万円(△42.2%)の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、9億91百万円増加し、146億5百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、9億89百万円増加し、100億67百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2百万円増加し、45億38百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により現金及び預金が9億13百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、四半期連結会計期間末日が金融機関休業日により支払手形及び買掛金が9億61百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金が57百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が58百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第1四半期までの業績動向を踏まえ、平成26年11月14日に公表した平成27年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が14,821千円増加し、利益剰余金が9,574千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	961,827	1,875,624
受取手形及び売掛金	6,816,204	6,733,426
商品	868,267	946,190
繰延税金資産	33,207	16,967
その他	303,970	313,667
貸倒引当金	△3,606	△2,779
流動資産合計	8,979,871	9,883,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	451,396	443,634
土地	1,650,849	1,650,849
リース資産(純額)	97,477	139,166
その他(純額)	285,574	287,443
有形固定資産合計	2,485,298	2,521,093
無形固定資産		
のれん	97,344	89,232
その他	15,142	14,890
無形固定資産合計	112,486	104,122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,009,169	1,097,654
リース投資資産	198,050	170,144
その他	870,013	870,291
貸倒引当金	△40,510	△40,575
投資その他の資産合計	2,036,722	2,097,514
固定資産合計	4,634,507	4,722,731
資産合計	13,614,379	14,605,827
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,144,723	8,106,483
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	142,934	151,936
未払法人税等	94,168	14,601
賞与引当金	62,695	15,000
その他	191,093	311,589
流動負債合計	8,134,374	9,098,371
固定負債		
長期借入金	258,420	241,230
リース債務	266,036	270,207
繰延税金負債	141,891	168,530
退職給付に係る負債	88,484	104,936
役員退職慰労引当金	153,849	156,014
その他	35,427	28,290
固定負債合計	944,108	969,208
負債合計	9,078,483	10,067,579
純資産の部		

株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,605,010	2,547,615
自己株式	△46,313	△46,313
株主資本合計	4,260,196	4,202,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,775	357,497
退職給付に係る調整累計額	△23,076	△22,050
その他の包括利益累計額合計	275,699	335,446
純資産合計	4,535,896	4,538,248
負債純資産合計	13,614,379	14,605,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,373,530	7,106,951
売上原価	6,704,970	6,471,397
売上総利益	668,559	635,554
販売費及び一般管理費	618,794	591,344
営業利益	49,765	44,209
営業外収益		
受取利息	864	783
受取配当金	3,827	4,825
持分法による投資利益	—	35
保険解約益	—	4,072
その他	5,082	2,875
営業外収益合計	9,774	12,592
営業外費用		
支払利息	2,321	2,310
持分法による投資損失	20	—
その他	98	312
営業外費用合計	2,439	2,622
経常利益	57,100	54,179
特別利益		
固定資産売却益	313	—
受取和解金	4,223	—
特別利益合計	4,536	—
特別損失		
固定資産除却損	15	—
投資有価証券評価損	—	1,850
会員権評価損	300	—
リース解約損	3,353	—
特別損失合計	3,669	1,850
税金等調整前四半期純利益	57,968	52,329
法人税、住民税及び事業税	12,545	13,286
法人税等調整額	15,653	16,379
法人税等合計	28,199	29,666
少数株主損益調整前四半期純利益	29,768	22,663
四半期純利益	29,768	22,663

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,768	22,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,524	58,721
退職給付に係る調整額	—	1,025
その他の包括利益合計	31,524	59,747
四半期包括利益	61,293	82,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,293	82,410
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,272,507	3,260,540	807,955	32,527	7,373,530	—	7,373,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,272,507	3,260,540	807,955	32,527	7,373,530	—	7,373,530
セグメント利益	300,576	290,111	71,360	6,511	668,559	—	668,559

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,218,379	3,080,761	784,276	23,534	7,106,951	—	7,106,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,218,379	3,080,761	784,276	23,534	7,106,951	—	7,106,951
セグメント利益	294,561	267,819	69,411	3,761	635,554	—	635,554

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。